

池子の森 残したい 米軍住宅建設に反対し1000人 『しんぶん赤旗』2004年12月6日付

http://www.jcp.or.jp/akahata/aik3/2004-12-06/01_02.html

2004年12月6日(月)「しんぶん赤旗」

池子の森 残したい

米軍住宅建設に反対し1000人

横浜で集会 小池参院議員あいさつ



池子の森への米軍住宅建設反対12・5集会参加者たち = 5日、横浜市金沢区

神奈川県逗子市、横浜市にまたがる米海軍池子住宅地区の横浜市側（金沢区）の貴重な森を壊して米軍住宅七百戸を建設する計画に反対する集会が五日、同区の六浦ひまわり公園で開かれました。首都圏で最大規模の自然林で、動植物の宝庫である池子の森を見渡す高台の会場に、地元住民や基地をかかえる横須賀、相模原、座間市民、労働組合、平和・民主団体などの約千人が参加しました。

日本共産党の小池晃参院議員、「原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会」共同代表の呉東正彦弁護士が連帯あいさつ。米軍住宅の追加建設は市との約束違反だとして国を相手に訴訟を起こした逗子市の長島一由市長がメッセージを寄せ、無所属の高野毅逗子市議が代読するなど幅広い共同の集会となりました。

集会実行委員会の菊谷節夫代表委員（神奈川労連議長）が「横浜市の中田市長は建設受け入れを撤回すべきだ」と訴え、地元の金沢区六浦に住む新井美知子さん（55）は「この美しく豊かな森を残したい」と熱い思いを語りました。

小池氏は、米軍住宅建設の背景にある原子力空母の横須賀配備など、米軍再編強化の動きを告発し、「大義は私たちと逗子市の側にある」と激励しました。

参加者は集会後、デモ行進し、沿道の市民がガッツポーズでこたえるなど反響を呼びました。日本共産党からは大森猛前衆院議員、畑野君枝前参院議員、県議団、横浜、逗子両市議団も参加しました。